

NPO 法人 ゆい —創刊号—

～子どもの育ちを見つめよう 未来を語ろう 手をつなごう～

—ゆいのこの1年を振り返って—

NPO法人ゆいは、約2年の検討会を経て、やっと昨年（平成28年10月5日）法人登録することができました。現在、福岡市西区姪北公民館で福岡市の補助金を頂きながら「わいわいこどもキッチンぷらす」（子どもの食と居場所づくり支援事業）を月2回行っています。

今回この記念すべき「会報—創刊号—」を発行するにあたり、賛助会員の皆さまを始め、学生ボランティアや地域の皆さまのご協力やご支援に感謝するとともに、これからも一緒に子どもたちの安心で豊かな育ちを支え、つながっていただけたらと願いつつ、活動報告をしたいと思います。

あらすじ

1. 「NPO法人ゆい」について
2. 「わいわいこどもキッチンぷらす」の経過報告（平成28年度分）
3. 平成29年度の活動について

1. 「NPO法人ゆい」について



—これは、理事の飯地氏が作成した法人ゆいのリーフレットの表紙デザインです—

『子どもの育ちを見つめよう 未来を語ろう 手をつなごう』

〈このキャッチコピーに、ゆいの会員たちの思いが凝縮されています〉

「子どもの育ちを見つめよう」

核家族化・少子化・ひとり親世帯の増加・いじめなど多様化、深刻化する今の子どもを取り巻く環境を知ること、そしてみんなで「子どもの育ち」を考えていきます。

「未来を語ろう」

今の子ども達の育ちは、未来の社会を作ります。それは私たちの未来でもあると考えるゆいは、親や支援者と一緒に子育てを行うとともに未来を語る場や機会を作っていきます。

「手をつなごう」

あらゆる世代の孤立化が進む今、誰にとっても社会とつながり集える場所が必要だと思います。心豊かに安心して暮らせる地域を作ることが、子どもにとっても大切な居場所作りの1歩となります。だから、子どもから大人までつながる地域創設を目指していきます。

《NPO法人ゆいの目標》

1. 小さな保育園づくり・・・子どもたちの健やかな育ちをサポート
2. 寺子屋的まなびや・・・異年齢の子どもたちが集ってまなび合う居場所
3. ご近所カフェ・・・子育て中の親子を中心に、地域住民が気軽に集える場

2. 「わいわいこどもキッチンぷらす」の経過報告 (平成 28 年度度)

平成 28 年 8 月 21 日に、福岡市西区姪北公民館で始まった「子どもの食と居場所づくり支援事業」(福岡市補助金事業)。この日の参加は 1 年生の女の子 1 人!

でも、その子のつながりで少しずつ増えてきた子どもたち。そして、子育てマイスターや西南学院大学ボランティアセンターとのつながりによって、支援の輪も広がってきたこの 8 か月。始めた私たちの方が、いろいろな学びや出会いに恵まれ、だんだん活動にはまっていることに気がつきます。

最近では、この活動に興味をもって地域の方が単独でお手伝いで参加されるようになったり、同じ志をもった方が正会員になって、積極的に法人の運営に関わってくださったりと、少しずつ地域とのつながりも出てきました。



〈わいわいこどもキッチンぷらすの様子〉



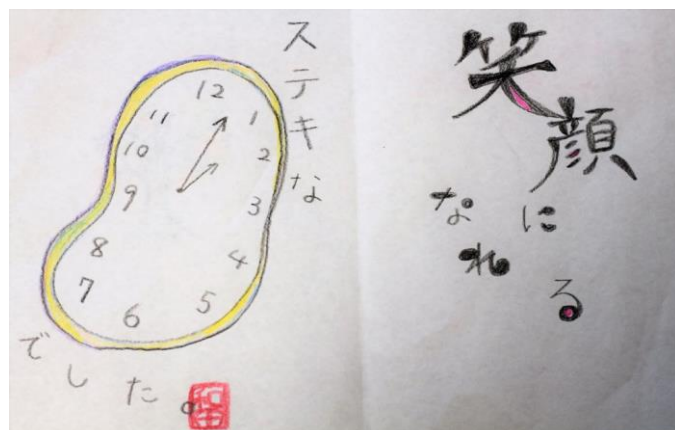
だしを取るためのいりこの頭や腹出し作業は、子どもたちのお気に入り!



また、学生さんのボランティアは、子ども達にとってお兄さん、お姉さん感覚で親しみやすい様で、大人気です(なぜか、子どもも学生さんも、1人っ子や1人暮らしが多いのも特徴です)。ずっと続けてきている子は、もうすっかり慣れた手つきで切ったり、積極的に関わって、新しく参加した子どもの面倒も見てくれます。

また、右下の絵は、学生ボランティアの女性がアンケートで書いてくれたものです。

先日、姪友会の方たちが 3 人来られ、この活動に対して米 60 kg 寄付してくださいました。このほかにも、缶詰めの寄付やフードバンク福岡とのつながりもできてきて、面白いです!



3. 平成29年度の活動について

1) わいわいこどもキッチンプラス (月2回)

- (1) 2年目の活動として、教育委員会などの後援を取り、小学校や大学との連携をさらに深める。
- (2) 公民館事業や地域の行事などにも参加し、地域とのつながりを広げる。
- (3) こどもの参加層の広がりを模索するとともに、親との関りを増やす。

2) 講演会 (年3回)

～子どもを取り巻く今を考える～〔西南学院大学コミュニティーセンター〕

3つのテーマについての講演会と参加者の交流会

(1) 6月4日 「血縁関係のない親子」

講師 西田知佳子(NPO 環の会理事・社会福祉士)

(2) 10月上旬 「子どもの非行」

講師 能登原裕子(ふくおか「非行」と向き合う親たちの会代表)

(3) 2月上旬 「親の離婚の実態と子どもの心」

講師 小山洋子(公益社団法人 家庭問題情報センター)元家庭裁判所調査官

3) 子どもゆめ基金助成事業「森へ行こう！(親子で沢登り体験)」

8月8日予定 講師： 西森綾子(森のようちえん「ぶらんこ」主宰)

活動： 油山自然観察センター～沢登り体験～昼食～アスレチック

4) 賛助会員やゆいメンバーとの定例会「ゆいの夢を語ろう会」開催(年4回)

福岡市天神にあるNPO ボランティアセンターあすみんな会議室にて、懇親会&意見交換会を開催(第1回目：5月16日(火曜)14時～16時予定)。

子育て支援に興味ある方は、どなたでも参加可能です。

5) 姪の浜地区の夏祭り参加、ご近所カフェの運営など検討中！

いろいろなご意見、アイデア、
耳寄りな情報などありましたら、
いつでもお気軽にご連絡ください！

また、私たちの活動に参加したい方、
協力してくださる方など大募集！！

☆4月、正会員になられた方の紹介

○ 山下徹さま

○ 田中敬暁さま



《編集後記》

異なる現場の専門家が集まり、それぞれが抱える子ども達やその親への熱い思いを出し合い、共通の夢をかなえるために法人化に至った「NPO法人ゆい」ですが、今こうやってわずか3年足らずの足跡を文章にしてみると本当に懐かしく、それなりに充実した豊かな時間を過ごしてきたのだな、と改めて感じています。

自分の子ども達もそこそこに育ち、「これからゆっくり自分の時間を楽しもうか」と思うのが一般的だとよく周りから言われますが、「何かやらなければ」、「どうにかしなければ」という気持ちが湧き上がってくるのは、なぜなのでしょう・・・不思議です。

法人の実績作りのために始めた事業

「わいわいこどもキッチンぷらす」でしたが、この活動は私たちに多くの出会いや学びをもたらし、今では大事な活動の1つになっています。

子どもたちの笑顔は、私たちが笑顔にしてくれます。住む場所も年齢も育ちも違うのですが、このひと時、1つのコミュニティができているのを感じます。

きっと昔は、こんな感じで人と人はつながっていたのでしょうか。



これから始まる新年度。

いったいどんな出会いや出来事があり、それは私たちにどんな思いや気づきを与えてくれるのでしょうか。ワクワクします！

この会報を読んでくださっている方たちとともに、また新たな思い出を作っていけたらと思います。これからも、どうぞよろしく願いいたします。

最後になりましたが、

私たちの活動を理解してこのような素敵な場所を提供してくださっている

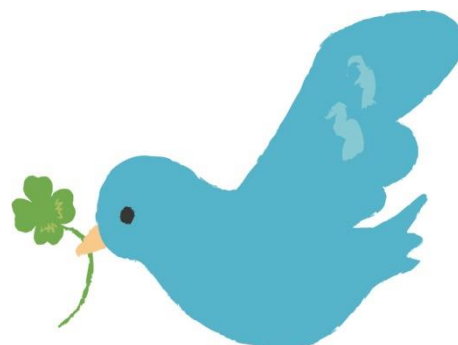
姪北公民館の館長さんや主事さん、そして職員の方たちに心から感謝いたします。

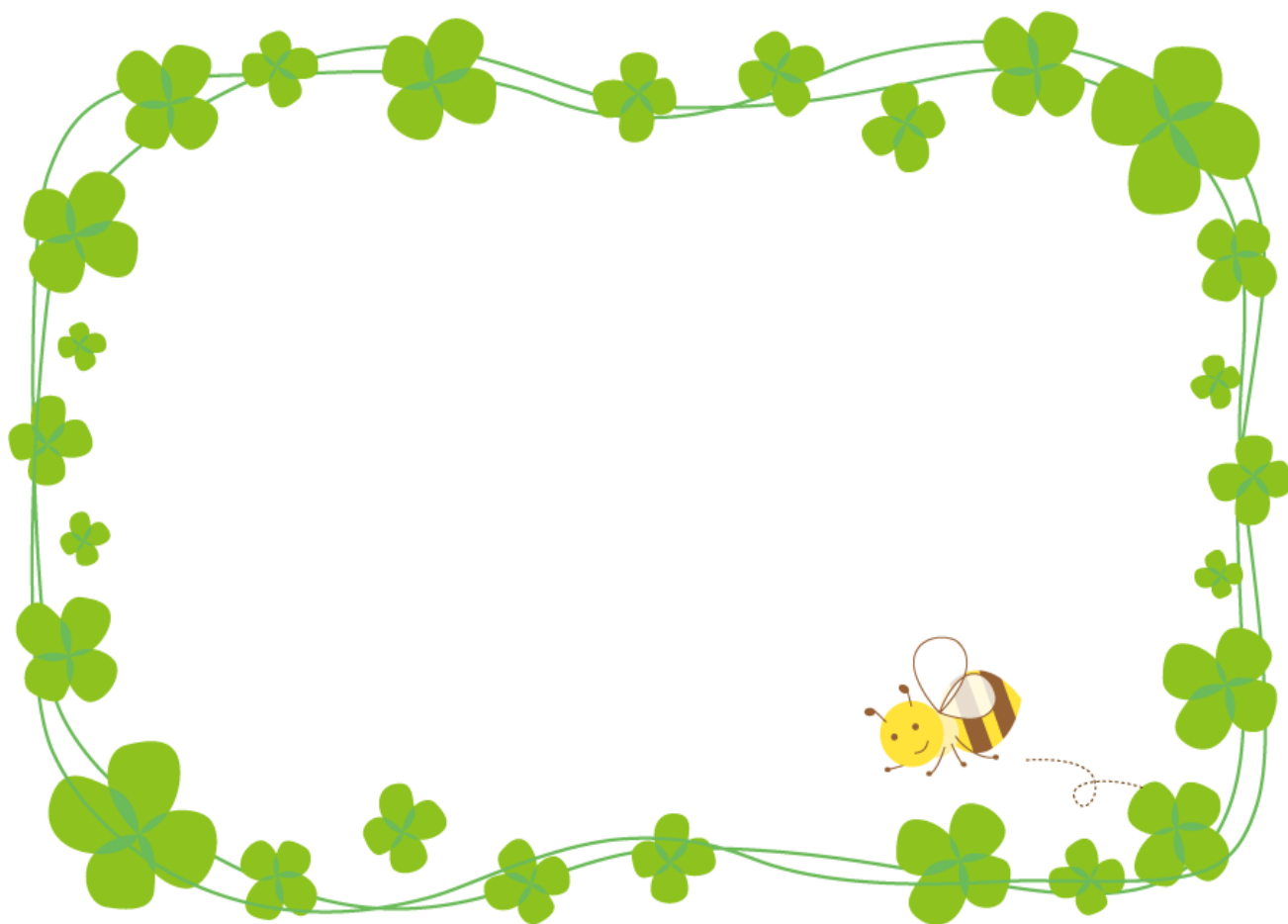
そして、いろいろ協力やアドバイスをしてくださる

行政の方たち、ボランティアの学生さんや皆さま、

本当にありがとうございます！！

一次回は、9月頃発刊の予定です。どうぞお楽しみに—





NPO法人ゆい 一創刊号—

執筆担当：高木美穂子

デザイン：飯地眞理子

事務所：福岡市西区生松台 2 丁目 30 番 1 号

☎：080-3949-5229